

信州星景写真展・大西浩次「茅野展」2026

宇宙と地球が交差する瞬間

—はやぶさ帰還の記録と八ヶ岳の星空—

Capturing Encounters with the Universe — The Sky of HAYABUSA's Re-entry —

後援 「長野県は宇宙県」連絡協議会



茅野市八ヶ岳総合博物館

〒391-0213 長野県茅野市豊平6983 TEL 0266-73-0300

<https://www.city.chino.lg.jp/site/y-hakubutsukan/>

入館料 大人400円、大学生・高校生300円、中学生・小学生200円

2026 5/23 sat >>> 7/12 sun

開館時間 | 9:00~16:30 休館日 | 毎週月曜日

宇宙と地球が交差する瞬間

信州星景写真展・大西浩次「茅野展」2026 Capturing Encounters with the Universe— The Sky of HAYABUSA's Re-entry — はやぶさ帰還の記録と八ヶ岳の星空—

2026 5/23 sat >>> 7/12 sun



「地球」の上の「わたし」が宇宙とつながる

2026年7月、小惑星リュウグウからのサンプルリターンに成功した日本の小惑星探査機「はやぶさ2」は、延長ミッションとして小惑星トリフネ（98943 Torifune）へのフライバイ観測を行い、その姿を捉えようとしています。宇宙で進み続ける探査の最前線は、今も私たちの空とつながっています。その原点にあるのが、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還です。

2010年6月13日夜、オーストラリアの空。小惑星から地球へと帰還した「はやぶさ」は、大気圏に突入し、光を放ちながら分解し、やがて静かに地球の大気へと溶け込んでいきました。国立天文台の観測隊の一員として、私はその瞬間を記録していました。本展では、この光景の「記録」と、そのときの「記憶」を手がかりに、「地球」の上の「わたし」が「宇宙」とつながる、その瞬間に立ち会う感覚を共有できればと願っています。

宇宙は、ただ遠くに広がっているだけではありません。八ヶ岳山麓に設置された深宇宙を結ぶ地上局—JAXA 宇宙科学研究所・白田宇宙空間観測所の64mパラボラアンテナとJAXA 美笹深宇宙探査用地上局の54mパラボラアンテナ—は、遠い探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」からの信号を受け止めてきました。長野県の空は、宇宙と確かにつながってきたのです。私たちが地球の上で見上げるこの空こそが、宇宙へと開かれた入口です。この空のもとで、「わたし」と宇宙がふと出会う瞬間があります。本展が、その静かな交差に立ち会う時間となれば幸いです。

大西 浩次



作者プロフィール | 1962年富山県生まれ。長野県長野市在住。博士（理学）。長野工業高等専門学校リベラルアーツ教育院教授。日本星景写真協会理事。国際天文学連合（IAU）会員。日本天文学会会員。日本天文教育普及研究会会員。「長野県は宇宙県」連絡協議会会長ほか。毎日小学生新聞にて「ガリレオ博士の天体観測図鑑」を連載中。第4回田淵行男賞入賞。個展多数。現在、「長野県は宇宙県」を合言葉に、天文文化の研究と天文学の普及活動を行っている。初めての天体写真は小学校2年生の時に撮影した皆既月食（1972年1月30日）。意識的に星景写真に取り組んで40年となる。地球・宇宙・人のつながりを主題に、地球の空気感を大切に自然写真（Nature Photo）としての星景写真を追求している。

関連イベント（要申込、通常入館料）

作品撮影の裏側や最新宇宙探査と長野県のつながりについて大西浩次氏が語る。

● オープニングギャラリートーク + ミニレクチャー

[日時] 5/23(土) 14:00~15:30

● 講演会 「信州で見守る はやぶさ2最新ミッション」

[日時] 7/5(日) 14:00~15:30



長野県は平均標高が高く、美しい星空環境があることから、多くの天文関連施設や研究機関が集まっています。八ヶ岳山麓で宇宙とつながる場所のひとつです。

国立天文台
野辺山宇宙電波観測所の写真もあります。



後援 「長野県は宇宙県」連絡協議会

茅野市八ヶ岳総合博物館

開館時間 | 9:00~16:30 休館日 | 毎週月曜日

〒391-0213 長野県茅野市豊平6983 TEL 0266-73-0300
<https://www.city.chino.lg.jp/site/y-hakubutsukan/>

